



ステランティスとファクトリアル・エナジー 電気自動車用の全固体電池を共同開発することで合意

※当文書はアムステルダムにて発表された英語版プレスリリースの翻訳です。プレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語版が優先されます。また、内容および用語が日本市場における定義と異なる場合もあります。

アムステルダム、2021年11月30日：ステランティス N.V. (NYSE / MTA / Euronext Paris: STLA) およびファクトリアル・エナジー（以下、ファクトリアル）は、高電圧トラクション全固体電池に関して、ファクトリアルが保有するテクノロジーをさらに進歩させるための共同開発契約に署名したことを発表しました。この契約には、ステランティスからの戦略的投資も含まれています。

「ファクトリアルをはじめとするきわめて評価の高いバッテリーパートナーに投資を行うことで、私たちの電気自動車ポートフォリオに必要な最先端技術を提供するスピードと対応力が向上します」と、ステランティス最高経営責任者（CEO）のカルロス・タバレスは述べています。「このようなイニシアチブは、市場投入までの時間を短縮し、より費用対効果の高い全固体技術への移行をもたらします」

ファクトリアルは、電気自動車の幅広い普及の障壁となっている、航続距離と安全性の問題を解決する革新的なテクノロジーである全固体技術を開発した会社です。

「数多くの世界的に有名なブランドを傘下に収める先進的モビリティ・プレイヤーであるステランティスのパートナーとなることができ、たいへん栄誉です」と、ファクトリアル・エナジー共同創業者であり最高経営責任者（CEO）のシュ・ホアンは述べています。「今回の契約は、当社が製造するクリーンで効率的、そして安全な全固体電池技術を、一般市場に広く受け入れていただくための素晴らしい機会となります」

ステランティスは、2021年7月に開催されたEV Dayのプログラムにおいて、2026年までに競争力を備えた全固体電池テクノロジーを導入するという目標を発表しました。

ファクトリアル先進技術はFEST (Factorial Electrolyte System Technology = ファクトリアル電解質システム技術) に基づいています。これは安全で信頼度の高い性能を実現する独自の固体電解質と、高電圧・大容量に対応する電極を組み合わせたもので、室温で作動する40Ahセルにまとめられています。FESTは従来のリチウムイオン・テクノロジーよりも安全で、より長い航続距離を実現し、既存のリチウムイオン・バッテリー製造のインフラに対してもドロップイン方式で採用が可能です。

Stellantis について

ステランティスは世界をリードする自動車メーカー、モビリティ・プロバイダーとして、明快なビジョンのもと設立された。ビジョンは、個性豊かで信頼性の高いモビリティ手段を手の届く価格で実現することにより移動の自由を提供することである。グループの持つ豊かなヘリテージと幅広い地理的プレゼンスに加え、ステランティスの最大の強みは、持続可能な事業内容と世界に広がる経験豊富で多彩な従業員たちにある。ステランティスは幅広くかつアイコン的認知を誇るブランドポートフォリオを傘下に持つが、そのいずれのブランドも情熱と競争心に富むビジョナリーによって創設され、従業員も顧客も魅了してきた。ステランティスが目指すのは規模ではなく最も優れた企業となることであり、全てのステークホルダーと事業を行う全てのコミュニティに対して付加価値を創造する。